

平成 29 年度新型インフルエンザ等対策講習会について

1 講習会の概要

○日 時 区部：平成29年11月29日（水）／多摩地区：平成29年12月6日（水）
いずれも19時から20時30分まで

○会 場 区部：東京証券会館/多摩地区：パルテノン多摩

○内 容 第1部「医療機関に求められる感染症危機管理」

講師：国立国際医療研究センター 呼吸器内科・国際感染症センター 高崎 仁 氏

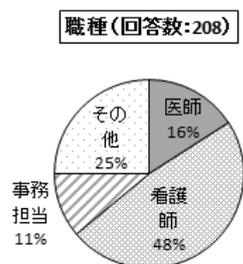
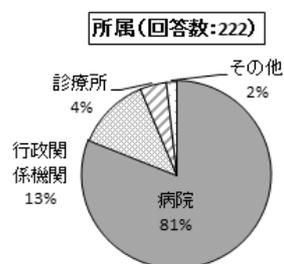
第2部「医療機関の未発生期における感染対策取組事例」

講師：東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部感染対策室 美島 路恵 氏

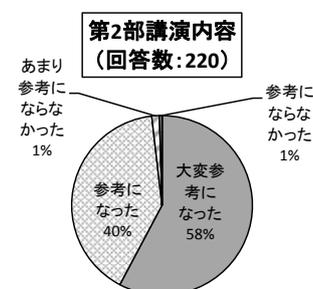
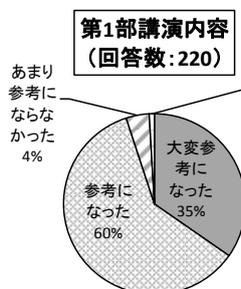
○参加者数 区部：146名/多摩地区：101名

2 アンケート結果

(1) 参加者属性



(2) 講演について



(3) 自由意見(抜粋)

- ・ 新型インフルエンザ発生リスクについて認識する機会となりました。
- ・ 新型インフルエンザ等のパンデミックが起こることを頭に入れ、対応をしていこうと思いました。
- ・ 事例に沿って説明していただき、過去の教訓から今後の対策・対応を具体的に考えられて良かったです。
- ・ BCPを施設にあったものにしたとしても、チームで策定するところに協力が得られず進化させられていないので、今日の話をもとに管理者を含め協力要請をしていこうと思います。
- ・ 自施設の現状を振り返り、再考する機会となりました。日頃からの訓練の大切さを再認識しました。
- ・ 小訓練(結核疑い患者を車椅子型アイソレーターで陰圧室に搬送)は実施しやすそうで、いざという時に対応する力が身に付きそうだと感じました。
- ・ 中小病院での感染対策取組事例やBCP策定例についても聞きたいです。
- ・ 行政の対策や保健所等との連携について知りたいです。

※ 参考：BCP策定状況 「東京都医療機能実態調査結果報告書」(平成29年3月)より

